

2021（令和3）年度 第3回中村町内会防災委員会 議事録

開催日時：令和2年11月7日（日） 14:00～15:30

開催場所：中中村集会所

出席者：松永（委員長）、小峰（上）永井、高橋（中）、安達、（下）（以上委員）、
町内会5役 宮崎（会長）、岡田（副会長）、佐藤（会計）國本（庶務）
山浦（上自治会長）、春山（中自治会長）、鈴木（下自治会長）：敬称略

司会：安達

記録：國本

1. はじめに

前回の経緯確認後、マニュアルの検討を行いたい。予算について、本日は長期的なものについての検討を行いたい。11月28日予定の研修化に向け、事前に班長にマニュアルを配布し事前に内容を確認するよう伝えたい。

12月12日の次回委員会では、28日の研修会の結果を反映し、年内にはマニュアルを完成させ各戸配布できるようにしたい。

協議内容

2. 前回の経緯：前回議事録内容読み合わせ確認。

- ・令和3年度中村町内会防災委員会活動計画の内容を修正した。

スケジュールの修正は以下の通り。（変更部分は下線表示）

| | | |
|------------|---------------|--|
| 第1回 | 7月4日 | 「防災マニュアル」案の検討。 防災予算状況確認。 |
| 第2回 | 10月3日 | 「防災マニュアル」案検討 10月中旬完成予定。 |
| 第3回 | 11月7日 | 「防災マニュアル」第1次町内会版配布 予算計画検討（長期）。 |
| <u>臨時会</u> | <u>11月28日</u> | <u>自主防災組織（班長以上）研修会</u> |
| 第4回 | 12月12日 | <u>研修会総括</u> 予算計画検討（中期）。 |
| 第5回 | 1月16日 | 「防災マニュアル」第2次町内会版配布。 予算計画検討（短期）。 |
| 第6回 | 2月6日 | 「防災マニュアル」最終版町内会版最終校正。 防災倉庫設置及び場所の確定、第一次予算計画案。 |
| 第7回 | 3月6日 | 「防災マニュアル」最終町内会版配布。 防災倉庫設置作業。 |

- ・倉庫設置に関して、防災用荷車などの備品が収納できるサイズであること再確認した。

3. 協議内容

(1) 検討事項

- ①防災対策推進計画（防災マニュアル作成等）について。

マニュアル内容の確認；（読み合わせにより確認と意見交換）

- 全体を 12 ページで構成し、最終ページを地図とした。緊急持ち出し物品などの資料も追加した。
- 組織図：
 - 災害直後の緊急対応を中心とした考え方で作成している。
 - 対策本部の役割と各自治会での活動部分との整合について確認が必要。
 - 担当者氏名表は役員が毎年交代するので毎年度更新となる。
- 避難誘導：
 - 一時避難場所は、各自治会は防災倉庫が設置されている所となる。上中村、中中村は集会場、下中村は防災倉庫設置予定場所。
 - 最終公的避難場所は小山小学校、小山中学校の 2 か所となっている。避難場所が満員となる場合、行政では別の場所の追加を検討する。
 - 自治会単位での安否確認、避難方法の検討が必要。荷車の活用等を考える。
 - 全員が避難する必要があるわけではない事を理解しておく。
- 消火：
 - 防災倉庫や消火栓、その他の資材の確認とメンテナンスが重要。
- 救護：
 - 救護に必要資材・道具の確認と使い方の確認が必要。
 - 応急手当、三角巾・AED の使用法なども加えたい。
 - 災害弱者の見守り、安否確認タオルの活用等。
- 情報収集；
 - 手法・手段等様々な方法を考える。対策本部との連動が重要。
 - 自治会長の役割の把握。
 - 対策本部から各自治会への連絡体制の確認が必要。
 - 伝達には紙ベースのメモが実戦的。
 - 連絡手段等、使用する文言等は共通認識のあるものとするべき。
 - 防災無線を利用し各自治会と対策本部との連絡が重要になる。
- 避難所運営・給食・給水：
 - 緊急対応として各自治会倉庫から供給。 ← 備蓄が必要。
 - 分配方法の確認等。
- 災害対策本部：
 - 設置場所はどこになるか。
 - 本部設置場所は他町内会も来るので、公的避難所に設置はできない。本部拠点の中中村集会場とする。(役員が集まる場所)
 - 避難所にも町内会の連絡員配置が必要。
 - 各自治会長は各自治会の一時避難場所で各担当に指示を出す役割。
 - 地震などで建物が崩壊した場合はテントでも本部設置はできる。
 - 本部としては各自治会の状況集約と全体的な動きの統括。
 - 消防防災無線で各自治会と本部の連絡設定ができる。
 - ← 災害時に無線連絡統制がひかれた場合、防災無線も機能しないので、伝令によるメモ伝達が有効ではないか。 → その訓練も必要だと思う。

・地図の確認:

- サイズやエリアなども再確認が必要。

◇ 以上の内容を含めて、28日の研修会を迎えたい。

②防災積立金執行計画について

・予算案確認

収入合計 3,514,733 円

支出合計 204,000 円

残 高 3,310,733 円

・執行計画

- 長期：防災倉庫整備対応が重要。

倉庫費用

30万 X 3自治会 = 90万 (今年度執行)

新規購入の必要のない自治会は防災倉庫整備費用という目的にあった使途とする。

- 中期：防災用テントを考えている。

5万 X 3自治会 = 15万 他

- 短期：(次年度以降～)

優先事項として (各戸配布数量購入)

緊急時飲料水7年保存 (@170円)・非常食 (カロリーメイト@130円) 24万

賞味期限前に会員に配布して入れ替える。

安否確認タオル「無事です」 67,750円 (執行済)

防災ベスト 20,850円 (執行済)

その他必要な資材:

- ・ディスクグラインダー 3台 3,000円 X 3台 9,000円
- ・発電機が必要。 ←ガソリン発電機は各自治会に設置予定。
→ 缶詰ガソリンは長期保存可能。
- ・脚立 等。

③研修会実施について (11月28日 14:00~15:30)

令和3年度中村町内会防災研修会実施要領に従い進めたい。

時間は1時間半以内でマニュアルの説明とする。

次年度の班長さんは防災に対する認識が白紙状態なので、今回研修会受けた方に次年度の班長さんを誘導していただく役割を担っていただけるようお願いしたい。

組織図の中で、自治会長の役割が図によって異なるように見える。

→ 実際は各自治会長が各自治会のリーダーとして各班を指揮する形だと理解していただきたい。当日の配布資料にはわかりやすい表記にする。

(2) 運営方針確認 (委員会を開催するにあたって)

- ① 各自治会から1名以上の出席。

最低1名以上の参加ができるようにしたい。

- ② 委員会は最大2時間以内（※今年度も → 1時間30分以内）としたい
- ③ 必要に応じて小委員会設置も検討する。
- ④ 委員会協議内容の公開化 ← 議事録作成し公開する。

(3) 今後の日程（各月1回）

次回 研修会 11月28日（日）14:00～15:30

委員会 12月12日（日）15:00～16:30

4. 終わりに

具体的に何かあったときにどうするのかということが形になってきたので今後も委員各位のご協力を願います。

以 上